

ベネズエラ経済（2017年 4月）

1 経済概要

（1）政府の各種政策・統計

●国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(CEPAL)は、ベネズエラの2017年実質 GDP 成長率をマイナス7.2%と予測。

●国会財務・経済委員会は、2017年第1四半期のインフレ率を65.5%と発表。

●13日、マドゥーロ大統領は、5月1日から、最低賃金を60%引き上げ、Bs. 65, 021にすると発表。

（2）政府予算・財政

●19日、マドゥーロ大統領は、100ボリバル紙幣の流通期限を5月20日まで延長する大統領令に署名。

（3）石油・天然ガス産業

●マルティネス石油大臣は、アルジェリアを訪問。ブダルファ・エネルギー大臣と会談し、原油減産で合意。

（4）自動車産業

●19日、GMは、裁判所判決による工場の差し押さえを受け、操業を終了した。

●ベネズエラ自動車会議所(CAVENZ)は、加盟全7社の4月の自動車生産台数は、80台、販売台数は、224台と発表。

2 経済の主な動き

（1）政府等の各種政策・統計

ア 経済指標・政策（予測）

●国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(CEPAL)は、ベネズエラの2017年実質 GDP 成長率を、マイナス7.2%と予測。

(25日付エル・ユニベルサル紙)

●中銀は、IMFに2016年の平均インフレ率を、254.95%、年末時点のインフレ率を、274.35%と報告。また、国会財務・経済開発委員会は、2017年第1四半期のインフレ率を、65.5%と発表。

(21日付エル・ナショナル紙)

●労働者情報分析センター（CENDAS）は、2017年3月の家庭基礎食糧バスケット価格が、前年同月比44.1%増の月額Bs. 772,614に達したと発表。同価格は、最低賃金（月額Bs. 40,638）の19ヵ月分に相当。CENDASによれば、基礎食糧58品目のうち、3月は、牛肉・砂糖等17品目が不足した。

（25日付エル・ナショナル紙）

●CENDASは、2017年3月の家庭基礎生活バスケット価格が、前年同月比42.4%増の月額Bs. 1,068,643に達したと発表。同価格は、最低賃金の26ヵ月分に相当。

（27日付エル・ナショナル紙）

●IMFによる南米の経済予測

	名目GDP (単位:US\$10億)			実質GDP成長率 (単位:%)			1人当りの名目GDP (単位:US\$)			インフレ率 (単位:%)			失業率 (単位:%)		
	2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018
ブラジル	1,798.6	2,140.9	2,238.4	-3.6	0.2	1.7	8,727	10,309	10,700	8.7	4.4	4.3	11.3	12.1	11.6
アルゼンチン	545.1	628.9	658.1	-2.3	2.2	2.3	12,503	14,267	14,764	n/a	25.6	18.7	8.5	7.4	7.3
ペルー	287.3	251.6	273.0	-18.0	-7.4	-4.1	9,258	8,004	8,577	254.9	720.5	2068.5	21.2	25.3	28.2
コロンビア	282.4	306.4	322.7	2.0	2.3	3.0	5,792	6,217	6,476	7.5	4.5	3.2	9.2	9.5	9.3
チリ	247.0	251.2	262.0	1.6	1.7	2.3	13,576	13,663	14,101	3.8	2.8	3.0	6.5	7.0	6.8
ペルー	195.1	207.1	219.1	3.9	3.5	3.7	6,199	6,506	6,812	3.6	3.1	2.6	6.7	6.7	6.7
エクアドル	98.0	97.4	97.4	-2.2	-1.6	-0.3	5,930	5,803	5,723	1.7	0.3	0.6	5.2	5.7	5.8
パナマ	55.1	59.5	64.6	5.0	5.8	6.1	13,654	14,515	15,531	0.7	2.0	2.3	5.5	5.5	5.4
ウルグアイ	54.6	58.1	60.8	1.4	1.6	2.6	15,679	16,639	17,354	9.6	7.7	7.5	7.9	7.8	7.8
ボリビア	34.8	39.3	42.7	4.1	4.0	3.7	3,197	3,547	3,797	3.6	4.0	5.0	4.0	4.0	4.0
パラグアイ	27.4	28.7	30.0	4.1	3.3	3.7	4,003	4,134	4,256	4.1	4.0	4.1	5.1	5.4	5.5

出典:IMF

イ 最低賃金の引き上げ

●13日、マドゥーロ大統領は、5月1日から最低賃金を、月額Bs. 43,638から60%増のBs. 65,021に引き上げると発表。また、食糧チケットについても、月額Bs. 108,000からBs. 135,000へ引き上げられた。

（5月1日付各紙）

ウ 景況調査

●工業連盟（Conindustria）は、加盟企業の景況調査を実施。

- ・加盟企業の26%が、雇用を削減した
- ・2016年第4四半期は、2,400工場の2割に当たる工場で原料不足になった。
- ・加盟企業の8割で、稼働率が4割を切る。

（10日付各紙）

エ 銀行融資・預金残高

●国立金融システム（SFN）による銀行の融資、預金残高の発表

・17年3月期の融資残高は、前年同月比165.17%増、前年末比30.96%増のBs. 7兆6,500億

・ 17年3月期の預金残高は、前年同月比198.61%増、前年末比28.61%増のBs.
14兆3,800億

(17日付エル・ユニベルサル紙)

オ 日本関係

●1日、ロボ経済担当副大統領は、パラグアイにおけるIDB年次総会において、木原財務副大臣と多国間投資基金について、また、林JBIC代表取締役専務取締役とも、ベネズエラが関心を有する分野に対する投資について意見交換した。

(3日付各紙)

カ その他

●9日、David Lipton IMF 第1副理事は、ベネズエラには、政治・経済的安定が必要であると懸念を表明

(10日付エル・パイス紙電子版)

●国家経済委員会は、2016年非石油部門として、カカオ、アルミニウム、木材、木炭、花崗岩等を合計3,480トン輸出したと発表。主な輸出先は、オランダ、イタリア、日本、プエルトリコ、米国、コロンビア、イスラエル、スペイン、UAE、中国、ロシア等。

(3日付エル・ユニベルサル紙)

●2016年の危険な都市（人口30万人以上）ランキング上位50都市において、ベネズエラは、7都市がランクイン。上位10都市のうち、4都市が、ベネズエラからランクインし、首都カラカスは1位で、人口10万人当たりの殺人率は130.35人。

(5日付墨NGO CCSJ)

2016年世界の危険な都市ランキング(人口30万人以上の都市が対象)

			殺人件数	人口	10万人当たりの殺人率
1位	カラカス	ベネズエラ	4,308	3,305,204	130.35
2位	アカプルコ	メキシコ	918	810,669	113.24
3位	サンペドロスーラ	ホンジュラス	845	753,864	112.09
4位	テグシガルパ	ホンジュラス	1,027	1,206,897	85.09
5位	ビクトリア	メキシコ	293	346,029	84.67
6位	マトウリン	ベネズエラ	499	592,574	84.21
7位	サンサルバドル	エルサルバドル	1,483	1,778,467	83.39
8位	グアヤナ市	ベネズエラ	727	877,547	82.84
9位	ハレンシア	ベネズエラ	1,124	1,560,586	72.02
10位	ナタル	ブラジル	1,097	1,577,072	69.56

出典:メキシコNGO

●世界経済フォーラム（WEF）の旅行・観光競争力ランキングによれば、ベネズエラは、136カ国のうち104位にランク。交通インフラの評価が低い。

(7日付 WEF)

(2) 政府予算・財政

ア 外貨準備高

●4月28日の外貨準備高は、101.47億米ドル（前月比2.7%減）となった。

（中央銀行）

イ 政府支出予測

●経済シンクタンク・TorinoCapital社は、2017年第1四半期の政府支出は、前年同期比23.3%減、15年同期比では、51%減になると予測。

（5日付エル・ウニベルサル紙）

ウ 100ボリバル紙幣の流通期限延長

●19日、マドゥーロ大統領は、100ボリバル紙幣の流通期限を、5月20日まで延長する大統領令に署名。

（20日付各紙）

エ 中銀債の発行

●中銀は、中銀債を発行し、17年1月～4月、2,570億ボリバルを市中から吸収した。90日償還の利率は、16.5%、180日償還の利率は、17.0%である。

（24日付エル・ウニベルサル紙）

(3) 石油・天然ガス産業

ア ベネズエラ原油価格・原油生産量（実績）

●4月の原油輸出価格は、1バレル44.08米ドル（前月比2.6%増、OPEC同51.43米ドル、WTI同51.21米ドル、BRENT同53.91米ドル）。4月の原油生産量は、日量195.6万バレル（前月比1.3%減）。

（石油省、OPEC Monthly Oil Market Report May 2017 Secondary Sources）

OPEC 原油減産状況 (OPEC secondary sources) (単位：日量1,000バレル)

	16年10月の生産量	減産量	17年1月からの生産目標	17年3月の生産量	順守率(%)
アルジェリア	1089	-50	1039	1056	66
アンゴラ	1751	-87	1673	1614	157
エクアドル	548	-26	522	526	85
ガボン	202	-9	193	198	44
インドネシア		不参加			
イラン	3975	90	3797	3790	-206
イラク	4561	-210	4351	4402	76
クウェート	2838	-131	2707	2702	104
リビア		免除		(622)	
ナイジェリア		免除		(1545)	
カタール	648	-30	618	612	120
サウジアラビア	10544	-486	10058	9994	113
UAE	3013	-139	2874	2895	85
ベネズエラ	2067	-95	1972	1972	100
合計	31236	-1173	29804	29761	126

イ その他

●マルティネス石油大臣は、アルジェにおいて、ブダルファ・アルジェリア・エネルギー大臣と会談し、減産延長で合意。

(27日付各紙)

●マルティネス石油大臣は、テヘランにて、ザンギャネ・イラン石油大臣と会談。

(30日付ウルティマス・ノティシア电子版)

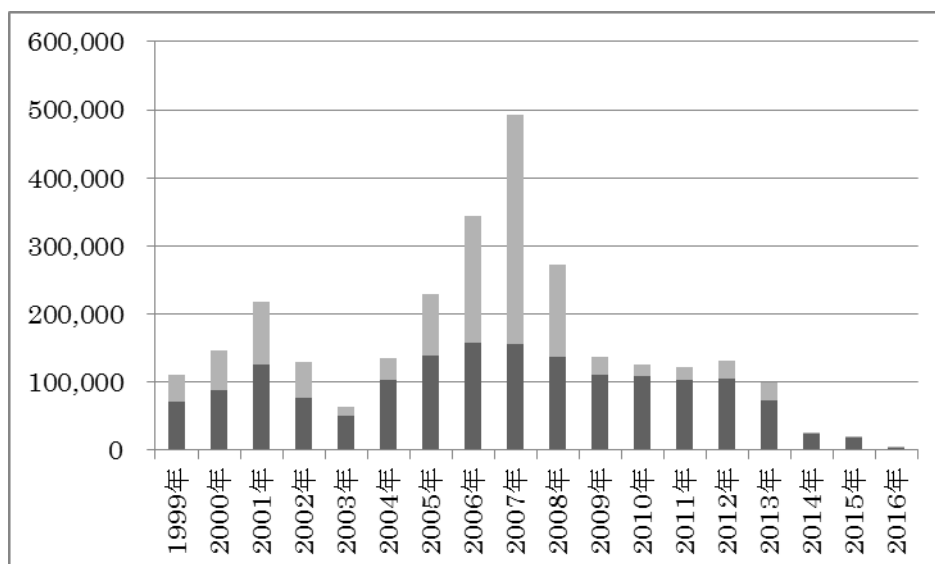
(4) 自動車産業

ア 生産・組立／販売台数（実績）

●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の4月の自動車生産台数は、80台（前年同月比44.44%減）、販売台数は、224台（前年同月比20.1%減）と発表。

(5月10日付CAVENEZ発表, 14日付エル・ナショナル紙)

ベネズエラの自動車販売台数（単位：台）



イ GM ベネズエラ社の差し押さえ

●18日、GMは、2000年に、スリア州のGMディーラーの販売権を取り消したことによる裁判所の判決で、同社の資産が差し押さえられたと発表し翌19日、ベネズエラでの操業を終了した。GMは、今回の決定について、国内外で、法的措置に訴えると発表。

(20日-21日付各紙)

●24日、トリアルバ労働・社会保障大臣は、GMベネズエラ社長と電話会談し、ベネズエラ政府は、自動車生産プラントの再開を望むと表明するとともに、生産再開のためファイナンス

を含む政府の支援にも言及した。

(25 日付ウティマス・ナシオン紙)

(5) その他産業

ア 化学

●化学産業協会(Asoquim)は、全国経済生産性審議会(CNEP)に対して、化学産業がサプライヤーに負う債務US\$ 5.25 億を、有価証券で清算するように要請した。化学企業は、原料の輸入の90%を自己資金で手当てしている。

(10 日付エル・ウニベルサル紙)

イ 漁業

●ピント漁業・水産大臣は、フランス、ベトナム、カナダ、米国向けにエビを輸出し、総額US\$ 1,200 万になったと発表した。

(11 日付各紙)

ウ 電力

●全国の火力発電容量15,000MWのうち、資金不足により、実際に発電可能な容量は31%に当たる4,650MWとなっている。カラカス近郊のタコア火力発電所は、発電容量の18.7%しか発電できない。グリ水力発電所は、9,000から10,000MW 発電が可能。一方、2017年の電力需要は、企業の倒産、工場の稼働率低下により、前年比1,000MW 減の13,000MWになる見込み。

(17 日付エル・ウニベルサル紙)

(6) 外貨発給状況

●2017年第1四半期の民間部門への外貨発給は、前年同期比44%減。2017年3月の民間部門へのDiproとDicomによる1日当たり発給は、700万米ドルで、過去15ヵ月で最低。

(6日付エル・ナシオン紙)

(了)